

健康経営優良法人2021 に認定されました

健康経営優良法人とは？

健康経営優良法人認定制度とは、優良な健康経営により組む企業を「見える化」し「社員の健康管理を経営的な視点で捉え、戦略的に取組みする企業」として顕彰する経済産業省が推進する認定制度です。

某大手広告会社の新入社員が過労死でなくなったことは世間に衝撃をあたえました。

これを契機に、各企業は、「過労死」や「長時間労働」が、貴重な社員を失うことはもちろん、多額の感謝料や損害賠償だけでなく社会的信用の失墜につながることを意識するようになりました。

そんな時代背景の中で今注目されているのが「健康経営」です。健康を社員個人の問題とせず、雇用する社員に対する企業の責任としてとらえる事で、戦略的に経営課題として取り組む姿勢です。

ただ、どのような取り組みがこの「健康経営」を意味するのか、各企業によっては戸惑いがあります。健康経営優良法人認定制度は、こういった背景があり、経済産業省主導で認定企画として誕生しました。

私たちは、この健康経営を実施している会社という事を認定頂いております。



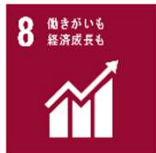
当社は、持続可能な開発目標 (SDGs) に貢献いたします

社内の健康目標を定め、健康作りを促進するための「健康宣言」を行いました。全国健康保険協会と連携を図りながら、従業員全員が健康で元気に仕事に取り組めるよう健康経営を宣言し、活気あふれる企業づくりを目指します。



すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



すべての人に健康と福祉を

すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク (働きがいのある人間らしい仕事) を推進する

SDGsとは？



持続可能な社会のための目標

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

当社は、持続可能な開発目標を支援しています



公益財団法人CIESFは、
カンボジアをはじめとした
途上国の未来のために教育支援を
行っている団体です。



当社は募金活動を通じて、
カンボジアにおける高度人材育成をサポートしています。

■ CIESF（シーセフ）の行う5つの活動

- ・教師を育てる（国境なき教師団）
- ・教育行政を改善する
- ・起業家を育てる
- ・産業人材を育てる
- ・子どもたちに質の高い教育を届ける（シーセフ リーダーズ アカデミー）

■ CIESF（シーセフ）の概要

- 【名称】公益財団法人CIESF（シーセフ）
 【理念】人材育成における2つの理念
- ・真の愛情と情熱をもった世界レベルの教育者の育成
 - ・利他の心と国際的視野をもった高度人材の育成
- 【理事長】大久保 秀夫 株式会社フォーバル 代表取締役会長



募金箱 ※写真はイメージです。